

令和3年度 一般社団法人新潟県介護支援専門員協会 事業計画

委員会・事業名	一般社団法人新潟県介護支援専門員協会（全体に係る事業）
---------	-----------------------------

1 事業方針概要

<p>介護支援専門員の資質向上と専門性を高めるため、引き続き質の高い法定研修を着実に実施するとともに、当会会員のニーズに応じた研修事業やブロック活動等の実施により、組織基盤の強化及び会員の拡大に努める。</p> <p>(1) 介護支援専門員の研修事業について、リモート研修の導入検討等、常に見直しを行いながら、より一層の受講環境改善を図り、研修効果や受講者利便の向上に努める。</p> <p>(2) 今後とも当会が県民福祉の向上に寄与するために、災害支援対策事業の実施やブロック活動の活性化を図るとともに、協会の果たすべき役割や組織の在り方等について必要な改編を行い、組織基盤の強化を図る。</p> <p>(3) 当会会員の資質向上と専門性を高めるため、社会問題や国の施策に関連する話題等をテーマとした研修や、関係団体・行政との連携事業などを実施するとともに、会員以外の方にも参加を働きかけ、会員の拡大に努める。</p> <p>(4) 広報誌「響希」を定期的（年3回）発行や協会ホームページでの情報発信により、会員並びに関係団体・県内市町村等に対し、当会の活動に関する理解促進を図る。</p> <p>(5) 今年度は協会設立から20年を迎えるが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、記念事業は来年度に延期することとし、今年度は実施に向けた準備を進めることとする。</p>
--

2 活動の内容(主たる活動、定例会議等)

活 動 内 容	実施予定時期・月日	備 考
理事会	第1回 5月20日(木)	令和2年度活動報告・決算案
	第2回 2月24日(木)	令和3年度補正予算案 令和4年度活動計画・当初予算案
定時社員総会	6月24日(木)	令和2年度活動報告・決算案 令和3年度活動計画・当初予算

3 年間の基本活動

内 容	実施予定時期・月日	具 体 的 な 活 動
三役会議	随 時	運営方針や活動計画の協議・検討
三役・委員長会議	4月、8月、10月 12月、2月	<ul style="list-style-type: none"> ・各委員会事業の進捗状況、予算執行状況確認 ・協会事業の現状把握、課題検討 ・次年度事業計画の協議・検討
協会設立記念事業 実行委員会	随 時	記念講演、懇談会等の準備・打合せ

令和3年度 一般社団法人新潟県介護支援専門員協会 事業計画

委員会・事業名	総務委員会
---------	-------

1 事業の活動方針

新潟県介護支援専門員協会（以下「県協会」という。）の事業計画に沿って、職能団体として社会への責務を果たす組織のあり方を検討する。

- (1) 県協会の会員拡大を図り、安定運営を行う。
 - ア ブロック活動の活性化
 - イ 災害対策事業
 - ウ 会員サポート事業
- (2) 生活支援に係る関係団体との連携
 - ア 賛助会員団体との連携強化
 - イ 共生社会の実現に向けた障がい福祉団体等との連携
- (3) 日本介護支援専門員協会（以下「日本協会」という。）新潟県支部の会員拡大のため、研修や事業の広報など周知し入会促進を図る。

2 活動の内容（主たる活動、定例会議等）

活動内容	実施予定時期・月日	備考
社員総会運営	6月24日（木）	総会準備・運営
定例会議	4月・7月・11月	組織のあり方の検討 入会促進の検討
ブロック活動への支援と連携	通年	会員拡大への協働 ブロック活動運営調整
災害支援部会 （災害対策事業）	6月・11月 通年 通年	研修の企画運営 災害関連団体との連携・参加 災害支援活動員の登録促進
日本協会との連携	通年	会員拡大への協働 甲信越ブロック研修会への参加

3 年間の基本的活動（研修等）

研修・企画名	実施予定時期	参加対象者 （予定人数）	会場	備考
社員総会	6月24日（木）	300名	新潟ユニゾンプラザ	
ブロック理事 連絡会	7月8日（木）	ブロック 理事	新潟ユニゾンプラザ	
	11月18日（木）			
災害対応研修	6月	30名	新潟ユニゾンプラザ	災害支援活動員交流会並びに災害支援ケアマネジャー養成研修
	11月	30名	新潟ユニゾンプラザ	災害支援公開講座
日本協会甲信越 ブロック研修会	11月	100名	山梨県	リモート研修

令和3年度 一般社団法人新潟県介護支援専門員協会 事業計画

委員会・事業名	広報委員会
---------	-------

1 事業の活動方針

<p>介護支援専門員に必要な最新情報及び当会の活動について、会員に情報発信する。 また、会員専用ページの周知及び活用促進を図る。</p> <p>(1) 当会の活動について、広報誌の響希（ひびき）を年3回発行し、情報発信し、当協会の活動に関する理解促進を図る。</p> <p>(2) ホームページ及び会員専用ページの周知を行い、活用の促進を図る。</p>
--

2 活動の内容（主たる活動、定例会議等）

活動内容	実施予定時期等	備考
委員会定例会議	5月、9月、1月	広報誌の発行（3回） 会員用ホームページ記事の作成（毎月）

3 年間の基本的活動

活動内容		活動時期	備考
広報誌「響希」の発行	響希 Vol. 10 発行	6月	総会資料等に同封
	響希 Vol. 11 発行	10月	
	響希 Vol. 12 発行	2月	
	Vol. 10 発行準備、Vol. 11 企画・分担	5月	
	Vol. 11 発行準備、Vol. 12 企画・分担	9月	
	Vol. 12 発行準備、Vol. 13 企画・分担	1月	
広報委員会	次年度活動計画の作成等	11月	
協会ホームページ	新着情報に「研修案内・報告（簡易版）」を掲載	随時	
会員専用ページ	・「HOT・一步」更新及び周知 ・研修案内・報告の掲載	毎月20日頃 随時	

令和3年度 一般社団法人新潟県介護支援専門員協会 事業計画

委員会・事業名	企画委員会
---------	-------

1 事業の活動方針

会員ニーズの高い分野を部会として設置し、介護支援専門員の専門性の向上を目指し、年間計画をもとに積極的に展開する。

(1) 主任介護支援専門員部会（地域包括・在宅介護支援センターを含む）では、専門性の向上を図る研修やネットワーク形成を推進する。

(2) 施設介護支援専門員部会では、研修の企画・運営やネットワークの形成を推進する。

(3) 会員個々の社会福祉・保健実践の報告の場を設け、相互にケアマネジメントの向上を図る。

(4) 会員の声と社会のニーズを反映し、必要な企画（調査、研究等）を検討する。

2 活動の内容（主たる活動、定例会議等）

活動内容	実施予定時期等	備考
委員会定例会議	年3回程度	事業の調整、研修の企画運営 部会間の情報共有
主任介護支援専門員部会 （地域包括・在宅介護支援センターを含む）	通年	会議の開催、研修の企画運営 ネットワーク形成
施設介護支援専門員部会	通年	会議の開催、研修の企画運営 ネットワーク形成
独立型居宅介護支援事業所に勤務する介護支援専門員の集い	通年	情報交換会 ネットワーク形成
統一模擬試験	8月	実務研修受験用模擬試験の実施

3 年間の基本的活動（研修等）

研修・企画名	実施予定時期	参加対象者 （予定人数）	会場	担当	備考
主任介護支援専門員研修会 （1）モート研修	6月16日（水）	会員・非会員 〔対面40名〕 〔Web40名〕	新潟ユニゾンプラザ（中研修室）	主任部会	講師：協会会員 対面は会員限定
主任介護支援専門員研修会 （対面研修）	8月20日（金）	会員 （40名）			講師：協会会員
施設介護支援専門員研修会 （1）モート研修	7月20日（火）	会員・非会員 〔対面40名〕 〔Web40名〕		施設部会	講師：協会会員 対面は会員限定
施設介護支援専門員研修会 （対面研修）	10月14日（木）	会員 （40名）			講師：協会会員
独立型居宅介護支援事業所 勤務する介護支援専門員の 集い	7月16日（金）	会員・非会員 （18名）	新潟ユニゾンプラザ（小研修室3）	担当委員	
統一模擬試験	8月22日（日）	会員・非会員 （18名）	新潟ユニゾンプラザ（小研修室3）	担当委員	
施設介護支援専門員交流会 （第2ブロック）	9月16日（木）	会員 （20名）	新潟ユニゾンプラザ（小研修室2）	小川委員	
施設介護支援専門員交流会 （第4ブロック）	11月	会員 （20名）	第4ブロック内	田中委員	

令和3年度 一般社団法人新潟県介護支援専門員協会 事業計画

委員会・事業名	研修委員会
---------	-------

1 事業の活動方針

研修委員会は、会員が自らの資質向上を図り、その専門性を高めるため、研修事業を実施するとともに、その充実を図る。

今年度、研修委員会が実施する研修は、介護支援専門員として基礎的な研修や国の施策に関連する話題などをテーマとした、広域的なスケール感のある研修事業等を下記の通り実施するとともに、会員以外の方々にも参加を働きかけ、事業効果の向上と会員の拡大に努める。

また、新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、リモートによる研修の実施も行う。

- (1) アンケート結果で要望の多い、面接技術に関する研修や医療知識を習得するための研修を実施
- (2) 社会問題にもなっている研修を行うことで、介護支援専門員としての視野を広げ、対応力を高める。
- (3) 原則、実務に就き3年未満の方を対象に介護支援専門員新任研修を行い、業務内容の振り返りや課題解決のための一環としてもらう。
- (4) 介護支援専門員が実務や研究を行っている内容を報告する場を設ける。
- (5) 介護支援専門員の抱えている問題や課題に対応した研修を随時行う。

2 活動の内容（主たる活動、定例会議等）

活動内容	実施予定時期・月日	備考
研修会等の企画、運営のための会議及び研修会の開催	定例会議開催月 4月・7月・11月・1月	会議はその他随時開催

3 年間の基本的活動（研修等）

研修・企画名	実施予定時期	参加対象者 (予定人数)	会場	備考
第1回全体研修会 (リモート研修)	4月又は5月	会員・非会員 (80名)	—	面接、コミュニケーション技術に関する研修
総会時研修	6月24日(木)	会員 (80名)	新潟ユニゾンプラザ(多目的ホール)	総会後の研修(講師はリモート)
第2回全体研修会	8月19日(木)	会員・非会員 (80名)	新潟ユニゾンプラザ(多目的ホール)	苦情解決処理のための研修
第3回全体研修会	10月1日(金)	会員・非会員 (80名)	燕三条地場産業振興センター	医学的知識を習得するための研修
実践報告会	11月2日(火)	会員 (80名)	新潟ユニゾンプラザ	実践報告と講演
介護支援専門員 新任研修	3月17日(木) 18日(金)	会員・非会員 (50名)	新潟ユニゾンプラザ(中研修室)	実務経験半年から3年未満の現任者、3年以上の振り返り希望者

令和3年度 一般社団法人新潟県介護支援専門員協会 事業計画

委員会・事業名	養成研修委員会（介護支援専門員法定研修）
---------	----------------------

1 事業の活動方針

介護支援専門員が、地域包括ケアシステムの中で多職種と連携・協働しながら、利用者の尊厳の保持を旨とした自立支援に資するケアマネジメントを実践するための研修を実施する。

昨年度の研修実施状況やアンケート結果を踏まえ、より一層受講環境の改善に努め、円滑かつ質の高い研修とするため、十分な検討・協議を行いながら事業を実施する。

(1) 養成研修委員会は、各事業の前後に開催し、実施前にはその方法や内容等の確認を、実施後には内容の評価を行って次年度に繋げていく。

(2) 企画会議、研修ワーキング会議及び講師連絡会は、各研修前後にこれを行い、課題の解決を図りながら、質の高い研修の円滑な実施に努めていく。

(3) 法定研修における研修向上委員会のあり方について検討する。

(4) 新型コロナウイルス感染症の動向を注視し、予防対策の実施及び評価・改善、並びにリモート研修の導入等の検討を実施する。

2 活動の内容（主たる活動、定例会議等）

活動内容	実施予定時期・月日	備考
養成研修委員会 ファシリテーター養成研修会 研修企画会議 研修ワーキング会議 講師連絡会	4, 6, 8, 10, 12, 2月 6月 各研修課程実施前後 " "	研修前後に内容確認、実施後の評価を行なう研修内容確認・運営方法の共通理解を深める

3 年間の基本的活動（法定研修の実施）

研修名・内容	実施予定時期	受講見込者 (予定人数※)	会場	備考
主任介護支援専門員 更新研修 【46時間・8日間】	4月19日(月)～ 6月10日(木)	260名	朱鷺メッセ ハイブ長岡	2コース
専門研修・更新研修 専門研修課程Ⅰ 【56時間・8日間】	7月6日(火)～ 8月24日(火)	250名	朱鷺メッセ ハイブ長岡	2コース 集合研修は朱鷺メッセで実施
主任介護支援専門員研 修 【70時間・11日間】	9月9日(木)～ 10月26日(火)	180名	朱鷺メッセ	1コース
専門研修・更新研修 専門研修課程Ⅱ 【32時間・5日間】	10月21日(木)～ 12月24日(金)	880名	朱鷺メッセ 上越 ハイブ長岡	4コース
実務研修 【87時間・13日間】	令和4年 1月6日(木)～ 3月25日(金)	200名	ユニゾンプラザ ハイブ長岡	2コース 集合研修は朱鷺メッセで実施
再研修・更新研修 (実務未経験者) 【54時間・8日間】	令和4年 1月6日(木)～ 2月28日(月)	300名	朱鷺メッセ	1コース 集合研修は実務研修と合同で朱鷺メッセにて実施

※通常実施の予定人数（主任更新研修を除く）